

風の輪

風の輪 第16号

社会福祉法人 水仙福祉会

〒533-0004 大阪市東淀川区小松1丁目13-20

☎06-6328-4019 Fax06-6325-9710

題字 岡村 重夫

地域に根ざした子育て支援センターを

風の子ベビーホーム建替え増改築を機に

今、求められる 子育て支援とは

最近、子育て支援という言葉をよく耳にするようになりました。国は、少子化が依然として進行していることや、児童虐待の増加など問題を重く見て、エンゼルプランという子育てに対する社会的支援を策定しました。

具体的には、乳児保育の拡大、延長保育や一時保育の推進、放課後児童クラブ、子育て支援センターの設置などで、今年度から引き続き、新エンゼルプランというさらに具体的な施策が加わった内容のものが発表されています。

では、実際に親の子育てに對する思いや、ニードというものはいったいどのようなものでしょうか。

「以前、風の子保育園で実施したアンケートの中で、「子育てしていく上でこんな援助があったら助かると思うものはありますか?」という質問に對して、病児(病後児)保育、保育時間の延長、補食、一時預かりなど、仕事と子育ての両立のための実際的な援助がいろいろと挙げられていました。

子育て支援は 家族支援

このように、「子育て支援」には、二つの課題があると考えられます。一つは、仕事をしながら子育てをする親に對して、具体的な生活支援を行なうことよって、仕事と子育てが両立できるよう援助していく子育て支援、もう一つは、育児に自信がない、困った時に助けてくれる人が周りにいないなどからの育児不安などを軽減する、家庭における子育て支援です。

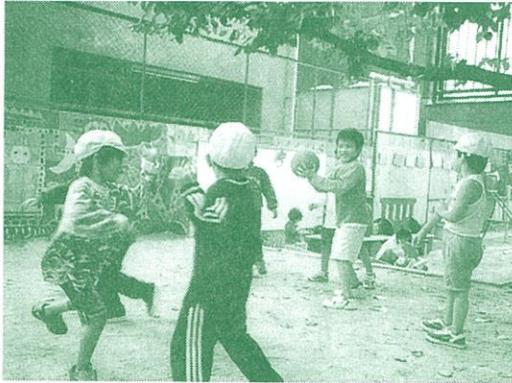
これらの支援は今後、子ども一人ひとりが健全に育っていくために、また、家族が深い絆を持って生活していくために、大切なものとなってくるでしょう。そして「保育園」はこの支援に大きな役割を担うものとなってくるはずです。

相談しやすい センター作りを

時代の変化と共に親のニーズの多様化や、少子化対策など、いろいろなことで保育園は変革を迫られています。また、具体的な生活支援やいろいろな問題に對して、満足に應えていくには、まだまだ力不足のところがあります。

しかし、大人も子どもも、何か困ったこと、相談したいことがあれば話ができ、一緒に悩み、考え、柔軟に對応して共に育っていく場になることを考えています。

現在、ベビーホームを新しく建設中です。保育の原点を忘れず、誰でもが気軽に立ち寄り、相談できるような「子育て支援センター」としての一步とを考えています。



楽しいドッチボール

また、毎年保育園で行なっている、育児教室のお母さん方の参加希望の理由は、主に子どもが他の子と遊ぶ機会が少

